audio-technica

AT-SB727

ワイヤレスステレオディスクプレーヤーシステム

取扱説明書

Japanese

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために次の内容を必ずお守りください。

⚠ 危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
⚠ 警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠ 注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本製品について

⚠ 警告

- **心臓ペースメーカーの装着部位から15cm以内の位置では使用しない**
  ペースメーカーが、本製品の電波の影響を受ける恐れがあります。
- **本製品を医療機器の近くで使用しない**
  電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。
- **自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない**
  電波が影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- **異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない**
  異常に気付いたらすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店に連絡してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- **火気に近づけない／火の付いたキャンドルなどを上に置かない**
  火災の原因になります。
- **分解や改造はしない**
  感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**
  感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **濡れた手で触れない**
  感電によるけがの恐れがあります。
- **水をかけない／水滴や水しぶきのかかる場所に置かない**
  感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない**
  感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **じゅうたんや布などで覆わない**
  過熱による火災など事故の原因になります。
- **本製品の充電端子や付属の充電用USBケーブルに水分や異物がついた状態で充電しない**
  腐食・発熱・発煙・発火などによる故障や感電の原因になります。
- **付属の充電用USBケーブルの端子が曲がっていたり、差し込みが緩くなっている状態で充電しない**
  発熱・発煙・発火などによる故障や感電の原因になります。
- **付属の充電用USBケーブル以外で充電しない**
  故障や火災の原因になります。

	• **市販のUSB電源アダプターを使用して充電する際、急速充電機能（5Vより大きな電圧を出力する）を有する機器で充電しない（推奨電圧：5V）** 故障の原因になります。

⚠ 注意	• **不安定な場所に置かない** 本製品の落下などにより、けがや故障の原因になります。 • **換気の良い場所に置く** 本製品を換気の悪い場所に置くと、熱がこもり、火災など事故の原因になります。ラックなどに入れるときは、放熱をよくするために本製品の周りに隙間を空けてください。 • **直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない** 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。また、故障、不具合の原因になります。 • **本製品の上に物（花瓶・植木鉢・水の入ったコップ・金属など）を置かない** 万一、倒れた場合、感電によるけがや、火災など事故の原因になります。 • **アルコール、ベンジン、シンナー、接点復活保護剤など薬品は使用しない** 変形、故障の原因になります。

充電式電池について

本製品は、充電式電池（リチウムイオン電池）を内蔵しています。

⚠ 危険	• **電池の液が目に入ったときは目をこすらない** すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。 • **電池の液が漏れたときは素手で液を触らない** 液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。 皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。 • **火の中に入れない、加熱、分解、改造しない** 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 • **釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない** 発熱、破損、発火の原因になります。 • **落下させたり強い衝撃を与えない** 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 • **水に濡らさない** 発熱、破裂、発火の原因になります。 • **以下の場所で使用、放置、保管しない** 直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、炎天下の車内、ストーブなどの熱源の近く 液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。

内蔵充電式電池について

本製品を充分に充電しても使用時間が短くなった場合は、内蔵充電式電池の寿命が考えられます。その際は当社サービスセンターへご連絡ください。

サービスセンター

0120-887-416（携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212）

本製品を廃棄する場合 リサイクルのお願い

内蔵充電式電池はリサイクルできます。本製品を廃棄するにあたり、リサイクルにご協力いただける場合は本製品を次の宛先まで着払いにてお送りください。なお、電池を取り出したあとの本製品は返却いたしかねますのであらかじめご了承ください。

送り先

〒915-0003
福井県越前市戸谷町 87-1
株式会社オーディオテクニカフクイ 二次電池回収担当 宛
TEL：0778-25-6736（電池回収専用）

Li-ion

使用上の注意

- ご使用の際は接続機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 接続する際は、必ず接続する機器の音量を最小にしてください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。また水がかからないようにしてください。
- 本製品は、縦置きなどにはせず傾きのない水平な場所に置いてください。
- 使用中はレコードに触れたり、本製品を移動させないでください。
- 本製品を使用しないときは、レコードを取り外して45RPMアダプターとトーンアームをカバーの下に収納してください。また、付属のプロテクターをカートリッジに取り付けてください。
- 持ち運ぶ際はカバーをつかんだりせずに、しっかりとキャリングハンドルを持って運んでください。
- カートリッジの針に指で触れないでください。
- カートリッジの針をプラッターやレコードの縁部にぶつけないでください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により変色することがあります。
- 充電用USBケーブルを使用する際は、必ずプラグを持って抜き差ししてください。充電用USBケーブルを引っ張ると断線や事故の原因になります。
- 使用中に充電用USBケーブルの抜き差しをしないでください。
- 充電用USBケーブルを使用しないときは、必ず本製品から充電用USBケーブルを取り外してください。
- 本製品の近くに電子機器や発信機（携帯電話など）があると本製品にノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- テレビやラジオのアンテナ付近で使用すると、テレビやラジオにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- プラグは根元まで確実に差し込んでください。
- 内蔵充電式電池を保護するため、半年に一度は充電を行うようにしてください。放置しすぎると充電式電池の持続時間が短くなる、充電しなくなるなどの恐れがあります。
- 本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所（10〜35℃）で充電してください。電池の劣化を招き、連続使用時間が短くなる、充電ができなくなるなどの恐れがあります。
- 本製品は、各国の電波法の適合または認証を取得している国でのみ使用できます。販売国以外では使用できません。

Bluetooth製品について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1.この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2.万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで、当社お客様相談窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置についてお問い合わせください。
3.その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

- この無線機器は2.4GHz帯を使用します。
- 変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。
- 本製品は日本の電波法の技術基準に適合しています。印刷されている内容はその証明となります。本製品を総務省の許可なしに改造したり、印刷を消して使用する事はできません。これに違反すると法律により罰せられます。

2.4FH1

ほかの機器との同時使用

Bluetooth搭載機器・無線LANを使用する機器・電子レンジなど、本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器の影響によって音声が途切れるなど電波干渉による障害が発生することがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性もあるため、次の点に注意してください。

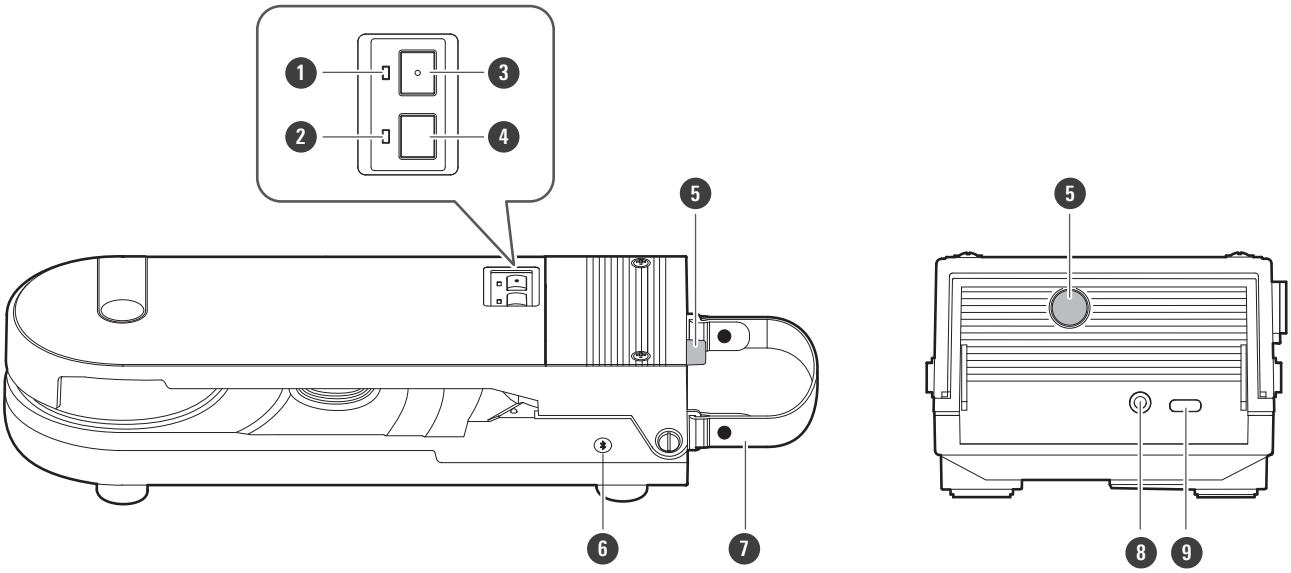
- 本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器を離して設置する。
- 病院内では使用しない。

使用上の注意

本製品と接続する機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。Bluetooth標準規格に適合していても、特性や仕様によっては、本製品と接続できない場合や、操作方法や動作が異なる場合があります。

各部の名称と機能

本体



❶ **電源インジケーター**

電源がONになると白色に点灯・点滅します。

❷ **スピードインジケーター**

回転数が33-1/3回転／分の場合は消灯し、45回転／分の場合は白色点灯します。

❸ **電源ボタン**

電源をON／OFFします。

❹ **回転数セレクター**

プラッターの回転数（33-1/3回転／分または45回転／分）の選択をします。

❺ **トーンアーム固定ねじ**

❻ **コネクトボタン**

本製品とBluetooth機器を接続する際に使用します。

❼ **キャリングハンドル**

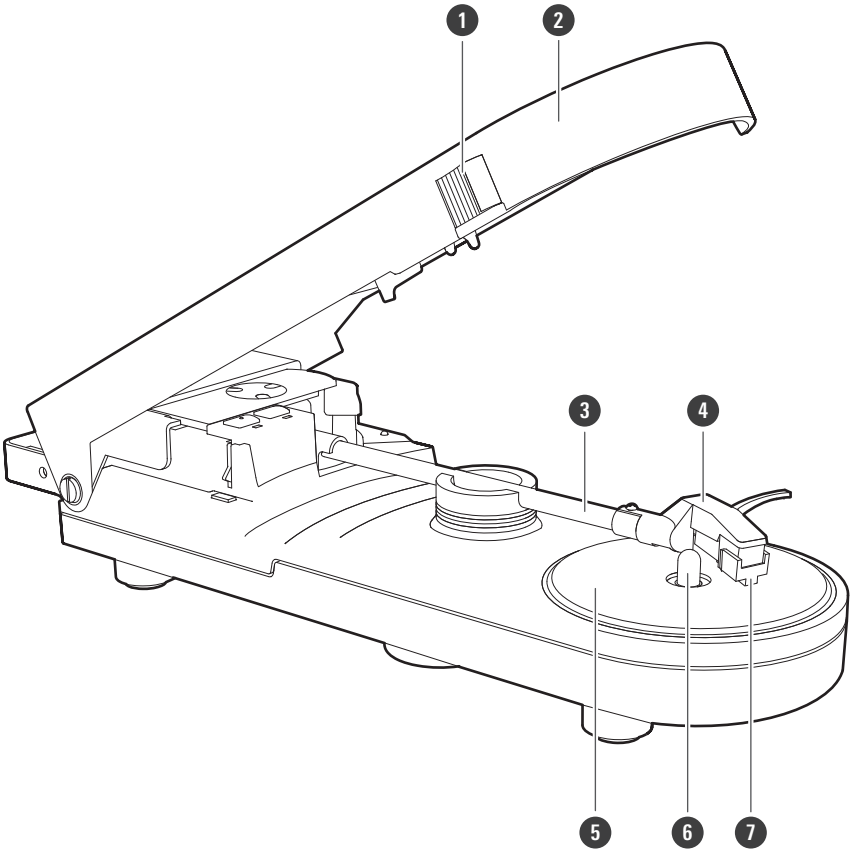
❽ **ステレオLINE出力端子**

オーディオケーブルを接続します。

❾ **充電端子**

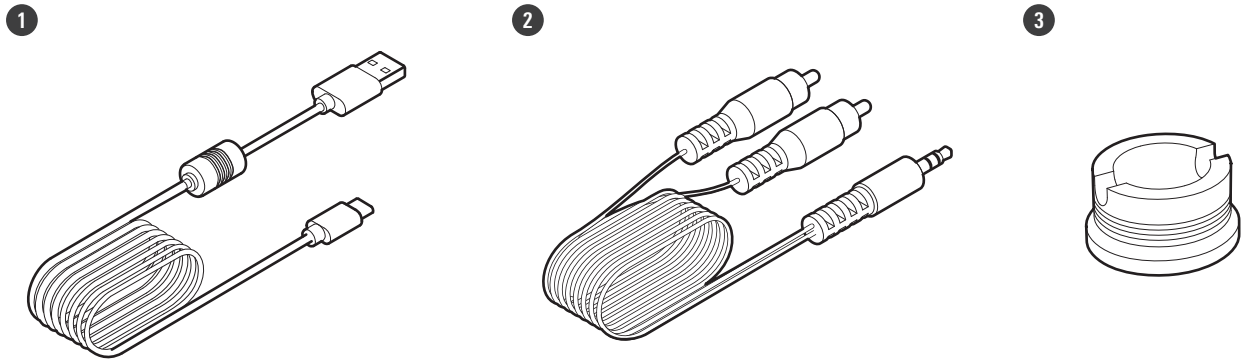
充電用USBケーブルを接続します。

本体（カバーを開けた状態）



1. **オープンボタン**
   カバーを開ける際にスライドさせます。
2. **カバー**
3. **トーンアーム**
4. **ヘッドシェルとカートリッジ**
   ヘッドシェルに、カートリッジが付いています。
5. **プラッター**
6. **スピンドル**
7. **プロテクター**

付属品

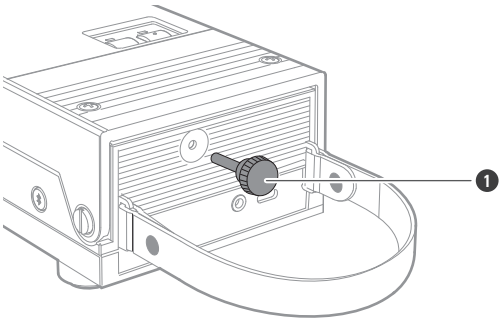


1. 充電用USBケーブル（約1.5m、USB Type-A - USB Type-C™）
2. オーディオケーブル（約1.2m）
3. 45RPMアダプター

使用前の準備

トーンアーム固定ねじを取り外す

- 購入時はトーンアームを固定するためのねじが取り付けてあります。使用する際に取り外してください。
- 取り外したねじは保管しておき、故障などで本製品を修理に出すために輸送する際は取り付けてください。

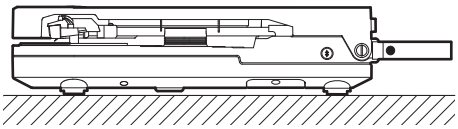


1 トーンアーム固定ねじ

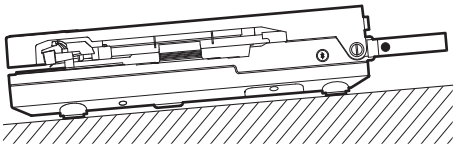
設置する

- 本製品を設置するときは、縦置きなどにはせず水平な場所に設置してください。
- 音圧や振動の影響を避けるため、スピーカーなどから離して設置してください。
- ラジオなどを本製品に近づけると、ラジオに雑音が入る場合があります。できるだけ本製品から離してください。
- 本製品の近くに強い電波を発生させる機器（携帯電話など）があると、ノイズが発生する場合があります。

○



×



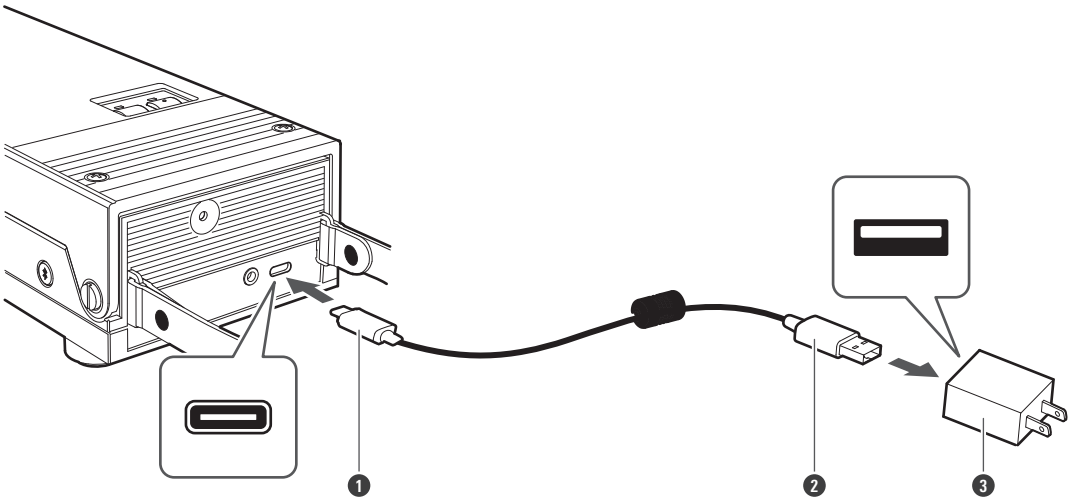
充電する

- 初めてご使用になる場合は、充電を行ってください。
- 充電式電池の残量が少なくなった場合、電源インジケーターが赤色に変わります。早めに充電してください。

- 満充電までに必要な充電時間は約12時間です。（使用条件により異なります）
- 本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所（10〜35℃）で充電してください。電池の劣化を招き、連続使用時間が短くなる、充電ができなくなるなどの恐れがあります。

1 **付属のUSBケーブル（USB Type-C側）を本製品の充電端子に接続します。**

- 付属のUSBケーブルは本製品専用です。ほかのUSBケーブルは使用しないでください。
- USB電源アダプターや充電端子にUSBケーブルを差し込む際は、まっすぐ（水平に）差し込んでください。



❶ USB Type-C
❷ USB Type-A
❸ USB電源アダプター（別売）

2 **付属のUSBケーブルを市販のUSB電源アダプターとコンセントに接続して、充電を開始します。**

- 充電時は、電源インジケーターが次のように点灯／点滅します（電源インジケーターの表示に数秒かかる場合があります）。

電源インジケーター	動作状態
変化なし（白色）	充電中／充電完了（電源ON時）
赤色点滅[1]	充電中（電源OFF時）
消灯	充電完了（電源OFF時）
早い赤色点滅	充電エラー

[1] 電池残量が規定値以上の場合は、電池劣化を防ぐため赤色点滅2回で消灯し、充電が停止します。

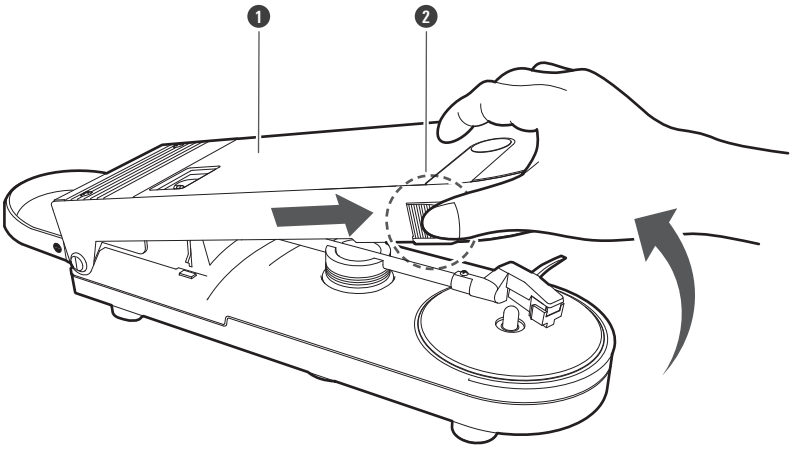
3 **充電完了後、USB電源アダプターをコンセントから取り外します。**

4 **USBケーブルを本製品の充電端子から取り外します。**

- 充電時は必ず付属のUSBケーブルをご使用ください。付属のUSBケーブル以外では充電できない場合があります。

レコードを取り付ける

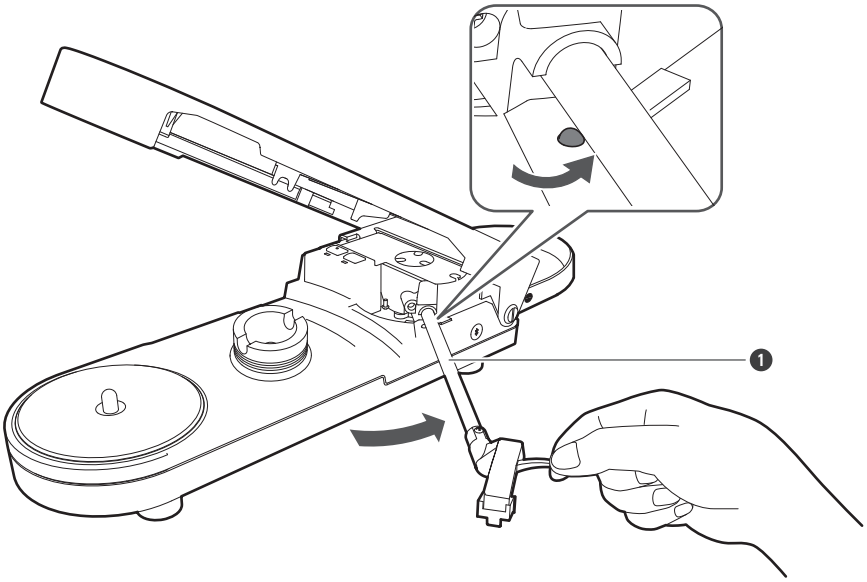
1 オープンボタンをスライドさせながら、カバーを開きます。



❶ カバー
❷ オープンボタン

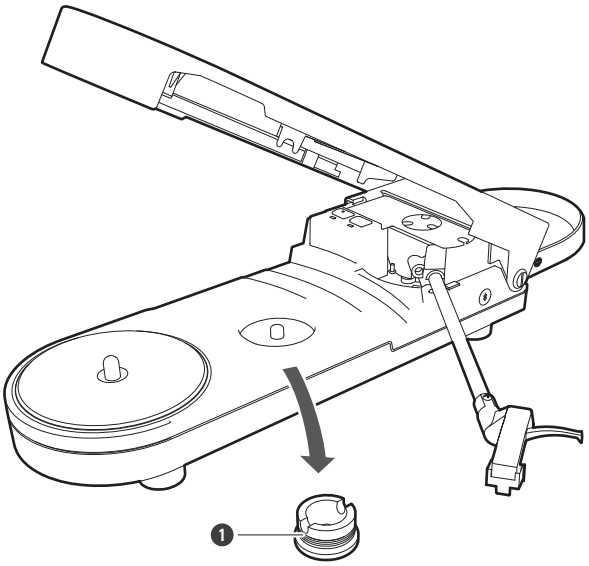
2 トーンアームをカチッという音が出るまで引き出します。

- 電源がOFFの状態で行ってください。トーンアームを移動させる前に電源をONにすると、プラッターが回転します。
- カートリッジの針先やプラッター、レコードを傷つけないように注意してください。



❶ トーンアーム

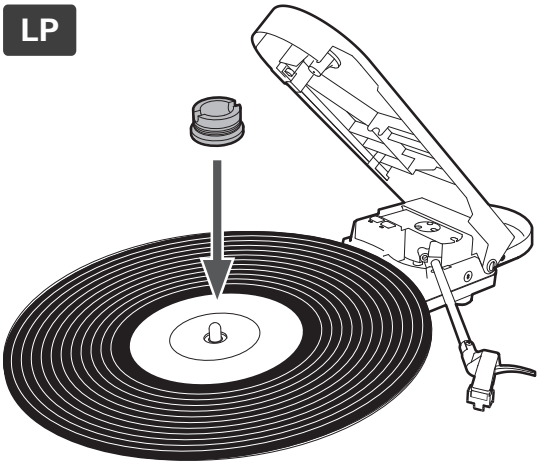
3 45RPMアダプターを取り外します。

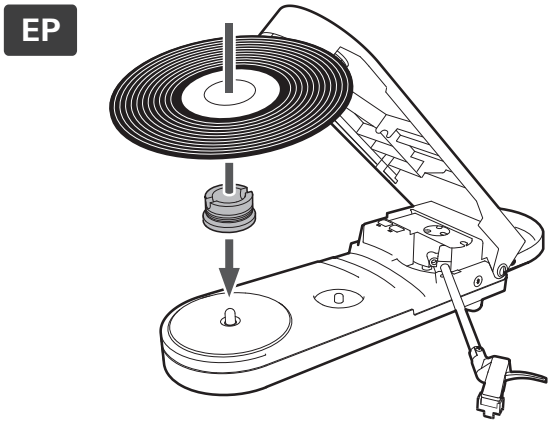


❶ 45RPMアダプター

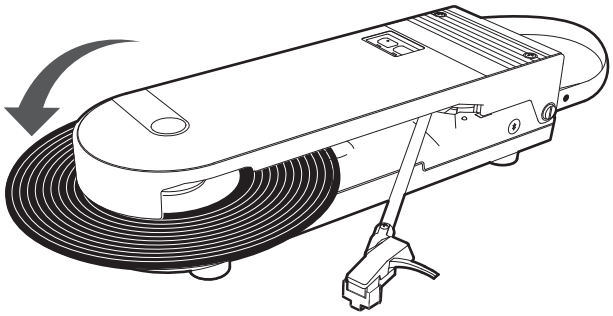
4 **レコードを、中心の穴がスピンドルに合うようにプラッターの上に乗せます。**

- LPレコードの場合は、45RPMアダプターをレコードの上に取り付けてください。
- EPレコードの場合は、45RPMアダプターをレコードの下に取り付けてください。





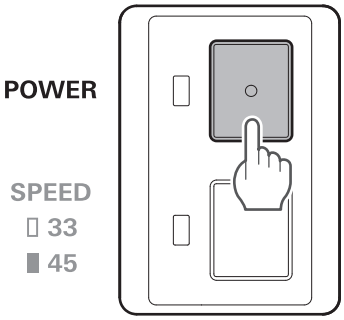
5 **カバーを閉めます。**



電源ON／OFF

電源をONする

1 電源ボタンを押します。

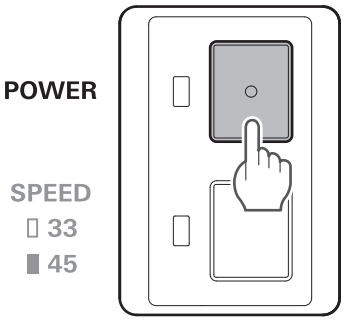


» 電源がONになり、電源インジケーターが次のように点灯／点滅します。

電源インジケーター	動作状態
白色点灯	電源ON（オーディオケーブル接続時）
白色点滅	電源ON（オーディオケーブル未接続）

電源をOFFする

1 電源ボタンを押します。



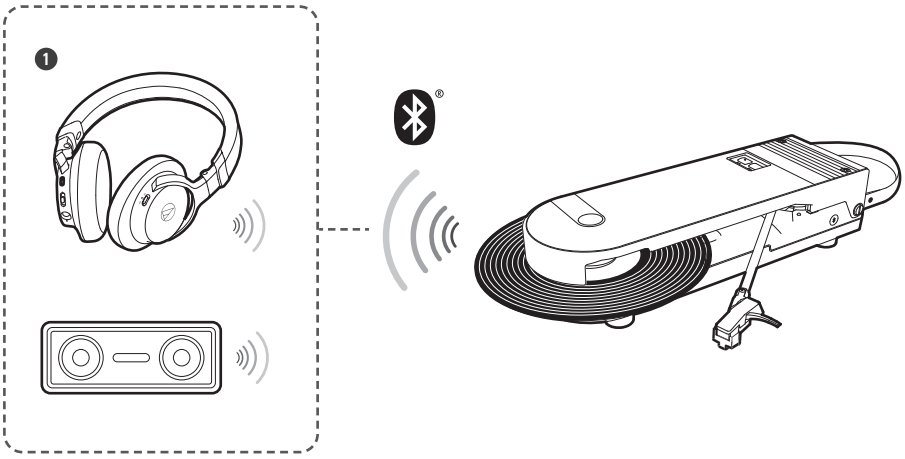
» 電源がOFFになり、電源インジケーターが消灯します。

ワイヤレス／有線接続について

本製品では、お使いの環境に合わせてBluetoothでワイヤレス接続、またはオーディオケーブルを使用してアクティブスピーカーなどと有線接続することができます。

ワイヤレスで接続する

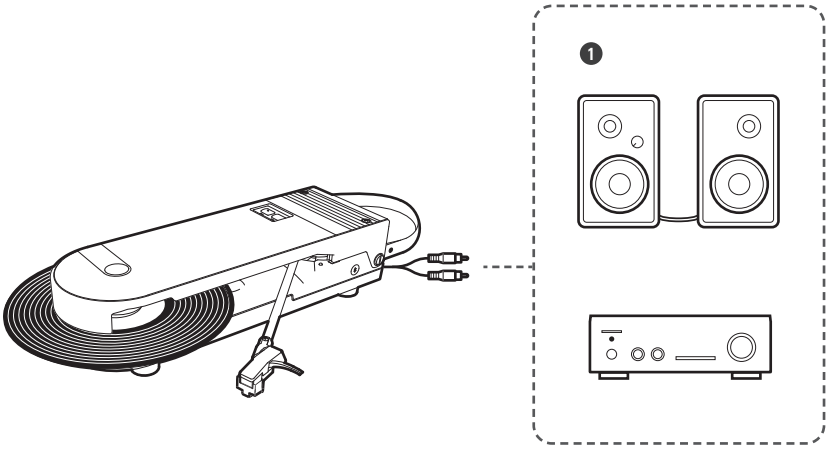
Bluetoothを使用してワイヤレスで接続する場合は、「ワイヤレスで使用する」(p.16)をお読みください。



❶ ワイヤレスヘッドホンまたはワイヤレススピーカー

有線で接続する

オーディオケーブルを使用して有線で接続する場合は、「有線で使用する」(p.18)をお読みください。



❶ アクティブスピーカーまたはアンプ

- 接続するスピーカーなどに音量調整がない場合、音量調整はできません。
- Bluetooth接続時にオーディオケーブルを接続すると、有線接続に切り替わります。

ワイヤレスで使用する

本製品は、Bluetooth接続に対応しています。Bluetooth対応のヘッドホンやスピーカーなど（以下Bluetooth機器と記載）と接続することができます。

ペアリングについて

本製品とBluetooth機器を接続する場合は、本製品とペアリング（登録）する必要があります。一度ペアリングをすれば、再びペアリングする必要はありません。
ただし、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

- Bluetooth機器の接続履歴から削除された場合
- 本製品を修理に出した場合
- 本製品のペアリング履歴をリセットした場合
- 9台以上のペアリングをした場合
  （本製品は合計8台までペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあとに、新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。）

ペアリングのしかた

- Bluetooth機器の取扱説明書も併せてお読みください。
- Bluetooth機器を本製品から1m以内に置いてペアリングを行ってください。
- 接続するBluetooth機器の動作は保証できませんので、あらかじめご了承ください。
- オーディオケーブルは取り外してください。

1 **本製品の電源をONにします。**

2 **本製品のコネクトボタンを長押し（約2秒）します。**

- 機器検索中状態になり、電源インジケーターが早い白点滅を始めます。

3 **お使いのBluetooth機器（Bluetooth対応ヘッドホンやスピーカーなど）をペアリングモードにします。**

4 ペアリングが完了すると、電源インジケーターがゆっくりとした白点滅に変わります。

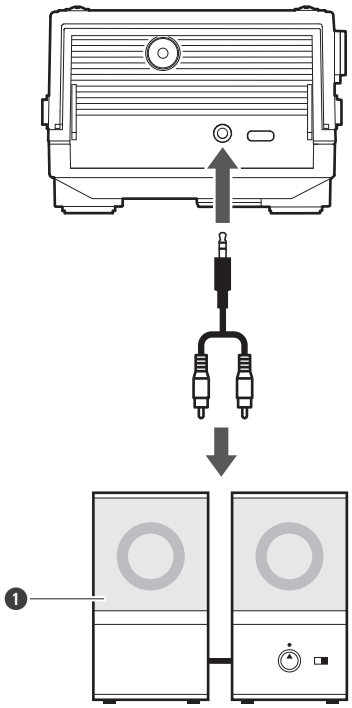
- 本製品のペアリングモードは、一定時間（約60秒）後に自動的に終了します。正しくペアリングが完了しなかった場合は、同様の方法でペアリングをし直してください。

有線で使用する

- ご使用の接続機器（アンプ、レシーバー、アクティブスピーカー、サウンドカードまたはその他の機器）の入力端子に、オーディオケーブルを接続します。
- オーディオケーブルの赤色端子が右（R）チャンネル、白色端子が左（L）チャンネルです。

アクティブ（アンプ内蔵型）スピーカーとの接続

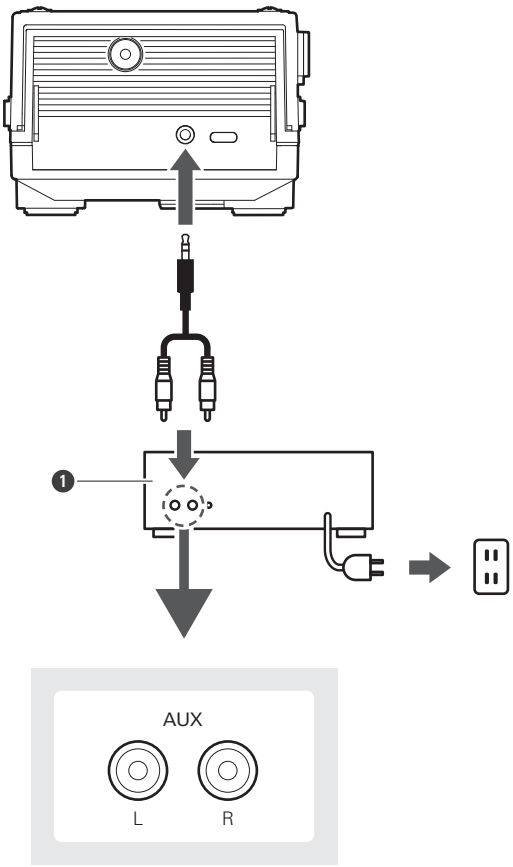
- 本製品とスピーカーを直接接続する場合は、アクティブスピーカーを使用します。
- アクティブスピーカーによっては、接続する際に変換ケーブルなどが必要になる場合があります。



1 アクティブスピーカー

- 接続するスピーカーなどに音量調整がない場合、音量調整はできません。

接続機器（アンプなど）との接続



❶ 接続機器（アンプなど）

電源インジケーター表示について

本製品の電源インジケーターの点滅・点灯表示により、下記の動作状態を表しています。

ペアリング

動作状態	電源インジケーター表示パターン
機器検索中	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○・・・ 0.5秒間隔で白色点滅

接続（ワイヤレス）

動作状態	電源インジケーター表示パターン
接続待ち	○ － ○ － ○ － ○ － ○ － ○・・・ 1秒間隔で白色点滅
接続中	▭ ▭・・・ 白色点滅（じんわりと光る）
切断中	▭・・・ 白色点灯

接続（有線）

動作状態	電源インジケーター表示パターン
オーディオケーブル接続中	▭・・・ 白色点灯

電池残量

動作状態	電源インジケーター表示パターン
電池残量が少ない	ペアリング・接続状態の白色表示が赤色表示に変わります。

使いかた

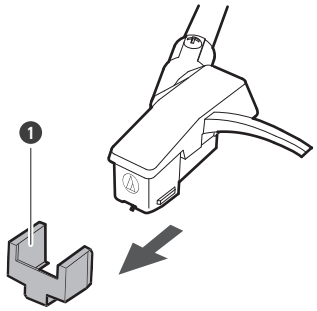
再生のしかた

アンプやアクティブスピーカーなどの音量を充分小さくしておいてください。

1 **レコードを取り付け、本製品の電源をONにし、機器と接続します。**

2 **カートリッジのプロテクターを取り外します。**

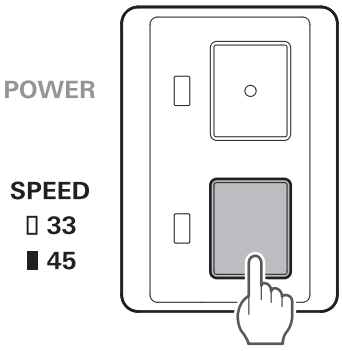
- まっすぐ手前に引き抜いてください。
- 下方向に力が加わると、針が本体から外れてしまう場合があります。針が外れた場合や外れかかっている場合は小さな音しか出ないため、「針交換のしかた」(p.25)を参照して、針を正しく取り付け直してください。
- プロテクターは無くさないように注意してください。



1 プロテクター

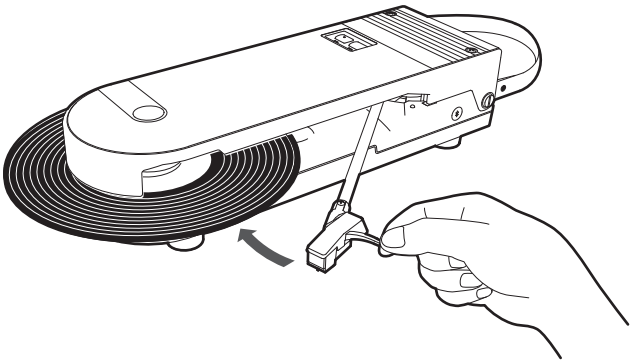
3 **回転数セレクターを押して回転数を選択します。**

- 33-1/3回転レコードの場合は「33」、45回転レコードの場合は「45」を選択してください。
- 「33」を選択した場合、スピードインジケーターが消灯します。
- 「45」を選択した場合、スピードインジケーターが白点灯します。



4 **レコードに針先を移動させます。**

- トーンアームを移動させるとプラッターが回転します。
- 針先はレコードの上に静かに下ろしてください。



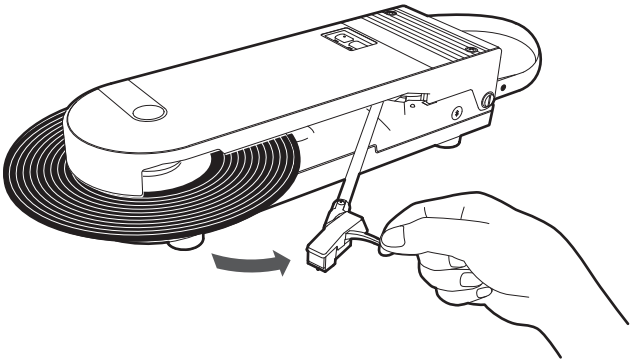
» 接続した機器から音楽が再生されます。

- レコードの反りが大きいと、本製品と干渉して再生ができない場合があります。故障の原因になりますので、反ったレコードは使用しないでください。

停止のしかた

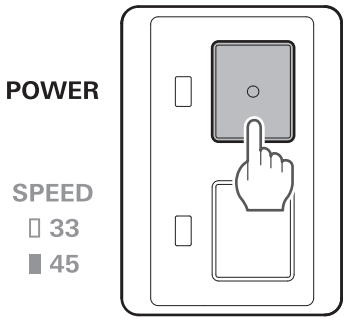
1 **トーンアームをレコードから持ち上げて、カチッという音が出るまで引き出します。**

- プラッターの回転が止まります。



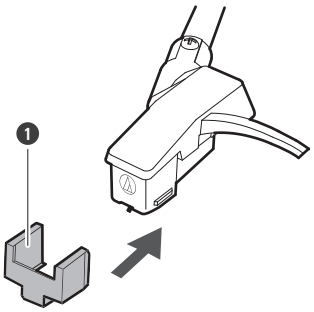
2 **電源をOFFにします。**

- 電源インジケーターが消灯します。



3 カバーを開けて、45RPMアダプターとレコードを取り外します。

4 カートリッジにプロテクターを取り付けます。



1 プロテクター

5 45RPMアダプターを元の位置に戻し、トーンアームを収納します。

6 カバーを閉じます。

オートパワーオフ機能

本製品は、電源がONの状態で、30分間レコードの音声がない状態が続くと自動的に電源がOFFになります。

- レコードのレーベルサイズなどによっては自動的に電源がOFFにならない場合があります。

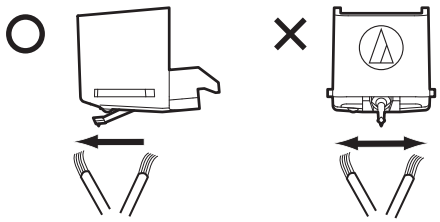
お手入れ

本体のお手入れ

- 汚れたときやほこりが付いたときは電源をOFFにしてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 長い間保存するときには、機器をビニールなどで包み、湿気を帯びないようにしてください。

カートリッジの針先のお手入れ

- 針先にごみや汚れが付着した場合は、市販のブラシできれいにしてください。
- 汚れがひどい場合は、スタイラスクリーナー（別売）をおすすめします。根元から針先へ向かってブラシを動かしてクリーニングしてください。

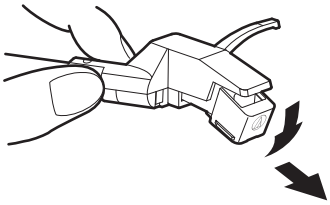


針交換のしかた

交換針の取り外しかた

- カートリッジの針先が磨耗すると音質が悪くなるばかりでなく、レコードを傷める原因になります。
- 再生時間は300〜500時間を目安に交換してください。
- 必ず本製品の電源をOFFにしてください。
- 針交換を行う場合は、ヘッドシェルとカートリッジ本体をしっかりお持ちください。

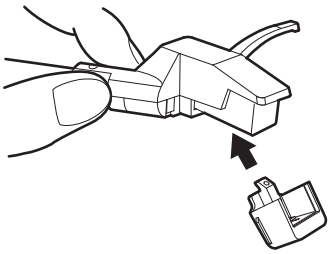
1 **針先の前面を回転させるように、手前下向きに押し下げます。**



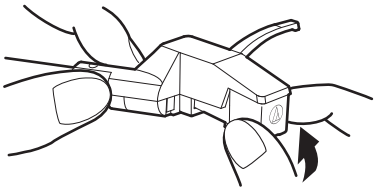
新しい交換針の取り付けかた

1 **新しい交換針をカートリッジに取り付けます。**

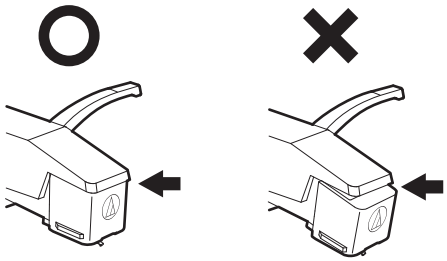
- 本体に合わせて下から差し込んでください。



2 **差し込み部分を支点にして、カチッという音が出るまで交換針を上方向に押し上げます。**



3 **ヘッドシェルとカートリッジに隙間がないことを確認します。**



本製品を移動するときは

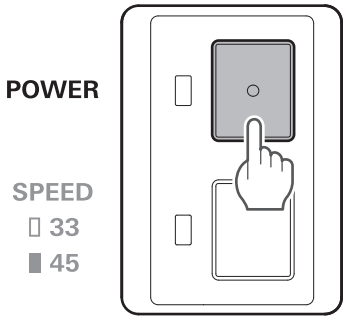
- 移動しながらのご使用はできません。
- レコードを取り外し、トーンアームと45RPMアダプターを収納してください。
- キャリングハンドルをしっかりと持ってください。
- 振り回さないでください。
- 輸送する際はトーンアーム固定ねじを取り付けてください。

リセット

本製品の接続がうまくいかない場合

ペアリングが解除できない、接続できない場合、ペアリングモードにすることで再度ペアリングを行うことができます。

1 オーディオケーブルを取り外した状態で、本製品の電源をONにします。



2 コネクトボタンを長押し（約2秒）します。

» 本製品の電源インジケーターが早い白色点滅に切り替わり、接続したいBluetooth機器とのペアリングを行うことができるようになります。

- 正しくペアリングが完了しなかった場合は、ペアリング履歴リセットを行ってからもう一度同じ操作を行ってください。

ペアリング履歴リセット

ペアリングがうまくできない場合、ペアリング履歴をリセットしてください。

1 本製品の電源がOFFの状態で、USBケーブルを接続し充電します。

2 コネクトボタンを長押し（約10秒）します。

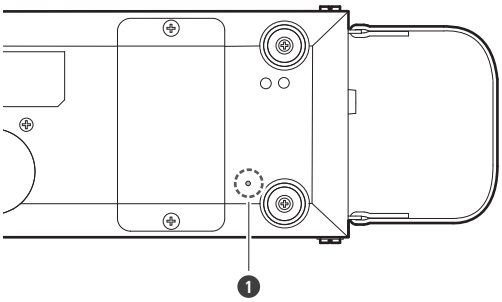
» 電源インジケーターが2回点滅し、ペアリング履歴がリセットします。

本製品の動作がおかしい場合（リセット）

本製品をリセットしてください。

- リセットしても、ペアリング設定などは初期化されません。

1 本製品の底面にあるリセットボタンを細長い棒などで押してください。



1 リセットボタン

» リセットが完了します。

故障かな？と思ったら

? 電源が入らない

- 本製品を充電してください。

? プラッターは回るが、音が出ない／音が小さい

- アンプなど接続機器の機能設定や入力の選択が間違っていませんか。接続機器の設定が適切か確認してください。
- 針が損傷していませんか。針を確認し、交換してください。
- 針がカートリッジ本体に正しく装着されていますか。カートリッジを確認し、調整してください。

? 針とびを起こす

- レコードが反っていませんか。レコードを確認してください。
- レコードに傷が付いていませんか。レコードを確認してください。

? ハウリングが生じる

- 本製品が、床、壁面、または近くのスピーカーから過度に振動を拾っていませんか。振動を小さくするか、振動の影響を受けない場所に本製品を置いてください。
- 本製品が不安定な場所に設置されていませんか。設置場所が適切か確認してください。

? レコードの再生音にノイズが生じる

- カートリッジの針先にほこりが付いていませんか。付いている場合は、市販のブラシできれいにしてください。

? レコードの再生音が速すぎる、または遅すぎる

- 本製品の回転数の設定が間違っていませんか。回転数セレクターで、再生するレコードの種類に合った正しい回転数を選択してください。

? ペアリングができない

- Bluetooth機器の通信方式がVer.2.1+EDR以上であることをご確認ください。
- 本製品とBluetooth機器の距離を1m以内に近づけてください。
- Bluetooth機器を切り替える際、直前に接続されているBluetooth機器との接続を解除できないなどのために、ペアリングができないことがあります。その場合は、コネクトボタンを長押し（約2秒）してください。本製品が「機器検索中」状態に切り替わり、接続したいBluetooth機器とのペアリングを行うことができるようになります。

- Bluetooth機器と本製品のペアリング履歴をリセットしてから、再度本製品とペアリングしてください。

? 音が出ない／音が小さい（Bluetooth接続時）

- 本製品とBluetooth機器の電源を入れてください。
- Bluetooth機器の音量を大きくしてください。
- 本製品とBluetooth機器の間に人、金属、壁などの障害物を無くし、距離を近づけてください。

? 音が割れる／ノイズが出る／音が途切れる

- 接続機器の音量を小さくしてください。
- 本製品から電子レンジ、無線LANなど電波を発する機器を離してください。
- 本製品からテレビ、ラジオやチューナー内蔵機器を離してください。これらの機器に影響を与える場合があります。
- Bluetooth機器のイコライザー設定をOFFにしてください。
- 本製品とBluetooth機器の間に人、金属、壁などの障害物を無くし、距離を近づけてください。

? 本製品の充電ができない／充電時間が長い

- 本製品とUSB電源アダプターがUSBハブなどを経由せずに直接つながれているか確認してください。
- 付属のUSBケーブルを確実に接続して充電してください。
- 本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所（10～35℃）で充電してください。

- Bluetooth機器の操作に関しては、機器により操作が違うため、お持ちのBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

テクニカルデータ

通信仕様

通信方式	Bluetooth標準規格Ver.5.2準拠
最大RF出力	10mW EIRP
最大通信距離	見通しの良い状態で10m以内
使用周波数帯域	2.4GHz帯（2.402GHz～2.480GHz）
変調方式	GFSK、Pi/4DQPSK、8DPSK
スペクトラム拡散方式	FHSS
対応Bluetoothプロファイル	A2DP、AVRCP
対応コーデック	SBC
伝送帯域	20～20,000Hz

本体

電源	DC3.6Vリチウムイオン電池（内蔵式）
駆動方式	ベルトドライブ方式
駆動モーター	DCサーボモーター
回転数	33-1/3または45回転／分
ターンテーブルプラッター	アルミニウム製
ワウフラッター	<0.25%（WTD）at 3kHz
SN比	>50dB（DIN-B）
カートリッジ型式	VM型ステレオカートリッジ
出力レベル	標準値150mV（1kHz、5cm/秒）（No phono-output）
PHONOプリアンプゲイン	標準値36dB、イコライザー特性RIAA
充電仕様	5V ⎓ 0.5A
消費電力	1.5W（充電時）
充電時間	約12時間[1]
使用可能時間	約12時間[1]
入力端子	USB Type-Cジャック
外形寸法	100mm×290mm×70mm（W×D×H）
質量	約900g
使用温度範囲	5℃～40℃
付属品	充電用USBケーブル（1.5m、USB Type-A - USB Type-C）、オーディオケーブル、45RPMアダプター
交換針（別売）	ATN3600LC

[1] 使用条件により異なります。

- 改良などのため予告なく変更することがあります。

商標について

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。株式会社オーディオテクニカは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1
www.audio-technica.co.jp

Audio-Technica Corporation
2-46-1 Nishi-naruse, Machida, Tokyo 194-8666, Japan
www.audio-technica.com
©2025 Audio-Technica Corporation
Global Support Contact: www.at-globalsupport.com
162900580-01-03
ver.1 2023.03.01
ver.3 2025.02.01